

# 平成29年度 景観形成基礎調査結果 概要

## 調査の目的

魅力ある都市景観形成に向け、本市の個性や魅力を活用した景観づくりに取り組むため、景観特性や固有の景観資源を新たに発掘または再検討するための調査・分析をするもの

## I 景観特性や景観資源の調査・分析

- ・宇都宮市の地域特性や景観資源の分布状況の調査・分析（自然的条件、社会的条件、法規制）
- ・関連計画等が示す宇都宮市の景観特性、景観資源の整理
- ・市内の学校校歌にみる地域の景観に関する調査・分析

### 《調査・分析結果》

- ・本市は、南北方向に延びる台地と低地、丘陵地が東西方向に交互に形成される変化にとんだ地形が景観の基盤となっている。
- ・うつのみや百景や市内の校歌において、山や河川などの地理的要素が多く出現し、市民の原風景となっている。

### ⇒《今後の良好な景観形成に向けた取組事項》

- ①「**台地や低地、丘陵地などの変化に富んだ地形の特性を活かした景観形成**」  
低地に広がる農地や市街地、河川を俯瞰できる台地など、地形を良好な景観形成のための重要な場所として活用することが重要
- ②「**農地や住宅地、商業地などの土地利用の多様さと変化を活かした景観形成**」  
土地利用の状況から分類したゾーン別の景観形成に加え、高速道路、新幹線、自動車、LRT等の車窓に展開する、連続しながら変化する土地利用を活かした景観形成が重要
- ③「**現景観計画に位置づけられた「個性ある景観」「郷土の景観」「まちのシンボル景観」の継承による良好な街並み景観の形成**」  
宇都宮市都市景観基本計画、宇都宮市景観計画に基づく、宇都宮を代表する誇れる景観を活用した取組を継続していくことが重要

### 《参考》 市政世論調査結果

・宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか ※無回答除く

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
非常に良くなった	5.0	5.1	4.5
どちらかという良くなった	40.6	38.0	43.6
(良くなった計)	(45.6)	(43.1)	(48.1)
変わらない	41.3	29.4	38.4
どちらかという悪くなった	11.1	9.3	9.7
非常に悪くなった	0.5	1.9	0.7
(悪くなった計)	(11.6)	(11.2)	(10.6)

## III 社会的ニーズや本市が目指すまちづくりとの整合と課題の整理・分析

- ・上位・関連計画の整理  
(第6次宇都宮市総合計画、宇都宮市都市計画マスタープラン、宇都宮市立地適正化計画、宇都宮市観光振興プラン、第2次宇都宮市文化振興基本計画、第2次宇都宮市緑の基本計画、宇都宮市歴史文化基本構想)
- ・関連施策の整理  
(総合的な交通ネットワーク整備、LRT整備、大谷スマートインターチェンジ、市街地再開発、自転車走行空間整備、中心市街地の活性化、ジャパンカップサイクルロードレース、大谷地域の観光復興)
- ・社会的ニーズと本市が目指すまちづくりを踏まえた課題の整理

## II 市民、来訪者ニーズ等の調査・分析

### ・市民が守りたい景観資源等の調査・分析

：市民にとっての大切な景観、来訪者に見てもらいたい景観について調査  
眺めを構成する主たる景観資源を基に、自然、歴史・文化、市街地、都市施設ごとに分類し、整理・分析

### 《調査・分析結果》

- ・自然に関する眺めが最も多く挙げられ、その視点場として道路や車窓が多く挙げられている。
- ・歴史・文化に関する眺めとして大谷地域や二荒山神社が特に多く挙げられ、それらがライトアップされた状態への眺めを重要視している。
- ・山頂や宇都宮タワー、市役所展望室など高所から見渡す街並みや夜景が、多く挙げられている。
- ・走行する鉄道や、公園・緑地における緑空間、桜並木など、都市施設に対する景観が多く挙げられている。

### ・来訪者(国内・海外)のニーズの調査・分析

：国内の来訪者及び在住・滞在している外国人を対象に、魅力的だと感じる景観や、良好な都市景観の形成に必要なこと、重要だと感じる眺めの場所について調査

### 《調査・分析結果》

- ・現在の宇都宮市の景観を魅力的だと、多くの人が感じている。
- ・緑にやすらぎを感じる人が、国内・海外ともに最も多く、また海外は、水辺にうるおいを感じる人の割合が多い。
- ・二荒山神社周辺の景観は、国内・海外とも、魅力的だと感じている。
- ・国内・海外とも、沿道や都心部の緑景観の必要性を感じている。
- ・特に、若い世代において、沿道のライトアップなど、夜間景観の創出が必要だと感じている。
- ・重要だと感じる眺めとしては、駅やインターチェンジと言った本市の玄関口となる場所、多くの人で賑わう街なか、歴史・文化資源や観光施設の周辺などが挙げられている。

### ⇒《今後の良好な景観形成に向けた取組事項》

#### ④「**来訪者が滞留する場所における良好な眺めの保全向上と視点場としての魅力向上**」

本市の魅力を楽しむ良好な眺めを、人が滞在する場所において確保するほか、建築物の規制誘導等によって魅力的な景観資源への眺めを保全するとともに、快適に滞在できる視点場の整備が重要

#### ⑤「**大谷地域における面的な景観形成による魅力向上**」

本市の歴史・文化があらわれた景観が魅力的であると感じられている大谷地域において、特定の景観資源周辺や視点場の整備のみならず、地域全体の面的な景観形成が、今後の更なる魅力向上のために重要

#### ⑥「**中心市街地における良好な夜間景観の形成による魅力向上**」

二荒山神社やカトリック松が峰教会などの中心市街地において、本市を象徴する特定の歴史文化的資源へのライトアップも重要な景観資源と位置付け、それらを阻害しないような、その周辺と一体となった夜間景観の形成が重要

#### ⑦「**都市空間における緑景観の創出による魅力向上**」

都市空間においては、主要幹線道路のみならず、川沿いや遊歩道など細街路等での、きめ細かな緑景観が重要

### ⇒《今後の良好な景観形成に向けた取組事項》

#### ⑧「**大谷地域における、観光振興につながる良好な景観形成**」

本市において特に良好な景観形成に向けた取組優先度の高い大谷地域における、地域固有の景観を阻害する要因の除却、周辺景観に調和した建築物等の整備・誘導、大谷石産業が表す特徴的な自然景観、人工景観、及び大谷石建造物群といった一連の観光体験において見せていくための、歴史文化を活かした景観形成が重要

#### ⑨「**大谷石建造物などの、宇都宮市の歴史や文化、生業等を表す象徴的な景観資源の保全・活用による景観形成**」

歴史や文化、人々の生活などを象徴し、また地域を印象づける、大谷石建造物などの、本市ならではの景観資源は、良好な景観を形成するための大切な資源であるため、それらを保全・活用していくことが重要

#### ⑩「**総合的な公共交通ネットワークの構築にあわせて都市の魅力・象徴の創造に資する、LRT沿線の魅力的な景観形成**」

LRTが走行する風景、LRTから眺める風景は、本市の印象付ける代表的な景観となることから、LRT沿線の魅力的な景観形成を図ることが重要

#### ⑪「**来訪者が滞留する場所における良好な眺めの保全向上と視点場としての魅力向上**」(再掲)

本市の魅力を楽しむ良好な眺めを、人が滞在する場所において確保するほか、建築物の規制誘導等によって魅力的な景観資源への眺めを保全するとともに、快適に滞在できる視点場の整備が重要

# 「平成29年度 景観形成基礎調査結果」

## Ⅱ 市民，来訪者ニーズ等の調査・分析（詳細）

### 1 市民が守りたい景観資源等の調査・分析

#### ア 住まいの周辺／宇都宮市全域における大切な景観，来訪者に見てもらいたい景観

・眺めを構成する主たる景観資源を，自然，歴史・文化，市街地，都市施設に分類すると，自然に関する眺めが最も多く挙げられた。

##### （ア）自然に関する眺めについて

- ・ 自然に関する眺めの視点場として，市内の様々な場所が挙げられた。
- ・ 日光連山や男体山，鬼怒川や田川など，山や川を主とした自然景観を大切にしたいと感じている市民が多かった。特に，日光連山や男体山など，遠方の山への眺めは，車窓や陸橋など，道路空間を視点場とするものが多く挙げられた。
- ・ 河川景観への眺めでは，橋が視点場として多く挙げられ，視対象としては，河川敷や遠方の山々など，河川が周辺や背後の自然環境と一体となった眺めが多く挙げられた。
- ・ 田園風景は，集落，新幹線，電車など，他の視対象の周辺景観として多く挙げられた。

##### （イ）歴史・文化に関する眺めについて

- ・ 中心市街地や大谷地域の視点場が多く挙げられた。
- ・ 大谷に関する景観資源は，大谷景観公園から眺める大谷石，大谷資料館で見る採石場跡など，視点場，視対象ともに大谷地域内に多く位置していた。また，特定の岩や大谷石造りの建築物も挙げられた。
- ・ 大通りやオリオン通りなどから眺める二荒山神社の景観が，特に多く挙げられた。
- ・ また，採石場跡を含む大谷資料館や二荒山神社，カトリック松が峰教会など，歴史・文化資源がライトアップされた状態への眺めも多く挙げられた。

##### （ウ）市街地に関する眺めについて

- ・ 街並み，住宅地など，一団の建築物群への眺めが多く挙げられていた。特に，山頂，宇都宮タワー，平和仏舎利塔，市役所の展望室など高いところから見渡す街並み，夜景を挙げる人が多かった。
- ・ 一方，特定の建築物については，宇都宮駅や建築物がライトアップされた状態が挙げられた。

##### （エ）都市施設に関する眺めについて

- ・ 鉄道が走行する風景が多く挙げられた。
- ・ 並木や文教施設，公園・緑地内の樹木，草花などの緑空間の景観が多く挙げられており，特に，八幡山公園や田川，新川などの公園や河川沿いの桜並木，駅東公園付近のイチヨウ並木，県庁前のトチノキ並木などの沿道の並木が多かった。
- ・ また，川沿いの道や遊歩道などの細街路の眺めを挙げる人が多かった。

表1：自然に関する眺めについて（一部抜粋）

眺めを構成する主たる景観資源の類型	眺めを構成する主たる景観資源	見る内容	見る場所
山地	日光連山	日光連山	宇都宮北道路
			飛山城史跡公園
			県庁展望ロビー
			跨線橋
			北関東自動車道（茂原付近） 柳田大橋
河川	鬼怒川	鬼怒川	新鬼怒橋
			柳田大橋
			鬼怒川サイクリングロード
		西鬼怒川	芦沼橋付近の上流，下流
		鬼怒川上流	高間木キャンプ場
		霧のかかった鬼怒川	柳田大橋
		鬼怒川河川敷でバーベキューしている光景	桑島大橋
		鬼怒川の河川敷	国道123号線
		鬼怒川，広大な河川敷，遠方の山々	桑島大橋
		鬼怒川と飛山城址公園（河岸段丘）	鬼怒川サイクリングロード
		冬の鬼怒川と日光連山	柳田大橋
		鬼怒川と日光連山	板戸大橋
		鬼怒川と夕日	飛山城跡
農村集落	田園風景	田園風景と筑波山	新4号国道（平出付近）
		田園風景と高原山	農道（上河内）
		田植後の里山の風景	高田沼（上籠谷町）付近
		田園風景	国道119号線（宮環・関堀陸橋）
			宇都宮アルプス登山道入口の飲食店
			羽黒山 古里中学校
		田園風景と市街地	羽黒山山頂（展望台）
			羽黒山
		リンゴ畑と水田	国道119号線（石那田町）
		カントリーエレベーターと水田風景	船生街道（石那田）
		姿川沿いの田園風景	-
		田園（逆面地区）	-
		上河内地域の田園	羽黒山神社
		豊郷まほろばの道と田園風景	うつのみや文化の森
古賀志地区と田園風景	大谷街道		

表2：歴史・文化に関する眺めについて（一部抜粋）

眺めを構成する主たる 景観資源の種類	眺めを構成する主たる 景観資源	見る内容	見る場所		
遺史跡	大谷石	大谷石	大谷地域		
		大谷石材地	-		
		大谷石の採掘跡	大谷街道		
		紅葉時の大谷石の岩山, 岩肌の植物	大谷街道		
		越路岩	国道 293 号線		
		屏風岩	大谷街道		
		ライトアップされた岩	大谷景観公園		
		城山地区の大谷石関連施設や古賀志山からの風景	-		
		あさり川小路の大谷石擁壁	日野町通り		
		石蔵	西根地区の道		
	大谷石のみそ蔵	-			
寺社	二荒山神社	二荒山神社	駅前通り 二荒山神社前 馬場通り交差点 バンバひろば パルコ前		
		雪が降った時の二荒山神社	二荒山神社前		
		桜が咲いた時の二荒山神社	-		
		3×3 が開催されている時の二荒山神社	-		
		二荒山神社の鳥居	八幡山公園 蒲生神社		
		ライトアップされた二荒山神社の鳥居	-		
		二荒山神社と鳥居	大通り		
		二荒山神社と階段	バンバ通り		
		二荒山神社の鳥居と階段	二荒山神社前 オリオン通り バンバ通り		
		二荒山神社, 街並み	大通り		
		二荒山神社と馬場通り	-		
		階段, 鳥居, 交差点	二荒山神社の階段上		
		歴史的建物	カトリック松が峰教会	カトリック松が峰教会	東武宇都宮百貨店の南側 車窓（東武宇都宮線）
				ライトアップされたカトリック松が峰教会と大銀杏	いちょう通り
ライトアップされたカトリック松が峰教会	-				

表3：市街地に関する眺めについて（一部抜粋）

眺めを構成する 景観資源の種類	眺めを構成する 主たる景観資源	見る内容	見る場所
街並み	街並み	市内の街並み	宇都宮タワー
			古賀志山
			戸祭配水場屋上
			榛名山
			八幡山公園
			平和仏舎利塔付近
			八幡山
	多気山山頂		
	市街地と郊外の景観	LRT の車内	
	田園風景と市街地	羽黒山山頂（展望台）	
	羽黒山		
	-		
	芦沼の街並み	通り	
	バンバひろば	人々が往来するバンバひろば、スクランブル交差点、商店街	二荒山神社境内
	二荒山神社	二荒山神社、街並み	大通り
二荒山神社を背景としたクリテリウム		-	
	ジャパンカップ サイクルロード レース	ジャパンカップサイクルロードレース風景	-
夜景	夜景	夜景	富士見ヶ丘
			羽黒山
			宇都宮タワー
			羽黒山山頂（展望台）
			多気城跡駐車場
			平和仏舎利塔付近
			富士見が丘の坂の上
			平和仏舎利塔周辺

表4：都市施設に関する眺めについて（一部抜粋）

眺めを構成する主たる 景観資源の種類	眺めを構成する 主たる景観資源	見る内容	見る場所
街路樹、緑道	イチョウ並木	イチョウ並木	宇都宮駅東公園
			宇都宮市体育館
			宇都宮市文化会館の側道
			白楊通り
	杉並木	杉並木	車窓（旧日光街道）
			県道 118 号沿線
	トチノキ並木	トチノキ並木	県庁前交差点～県庁
	ポプラ並木	ポプラ並木	宇都宮市立東図書館
	並木	秋の並木	宇都宮駅東公園
			夜の木々
	新川桜並木	新川桜並木	車窓
車窓（東武宇都宮線南宇都宮駅）			
新川沿い			

**イ その他，宇都宮市の景観についての自由回答（良いところ，悪いところ，魅力向上に必要なこと，など）**

- ・ 自然に恵まれた環境であり，大切にしてほしいという意見が多かった。
- ・ 一方，中心市街地において，街並みの雑然さが指摘されており，建物の高さや色彩，屋外広告物の色彩に関する規制が必要との意見が多く挙がった。
- ・ また，城下町としての歴史や，大谷石を活かした景観整備を求める意見が挙がった。
- ・ 良好な景観形成に向けて，市民による清掃や，市民ボランティアへの支援など，市民による取組みが必要との指摘があった。
- ・ また，ビューポイントの整備や，歴史説明板の設置など，景観を見せる，伝えるための取組みが必要との意見も挙がった。

## 2 来訪者（国内・海外）のニーズの調査・分析

### ア 宇都宮市の景観に対する所感

- ・国内の来訪者、外国人ともに、現在の宇都宮市の景観を魅力的と感じている人が多い。特に外国人は全体の約9割が魅力的と回答している。
- ・魅力的と感じる理由として、「緑にやすらぎを感じる」が国内、海外ともに最も多い。外国人は「水（水辺）にうるおいを感じる」を次に多く挙げている一方、国内の来訪者は当回答が最も少なく、水辺における景観に対する評価に違いがみられる。
- ・魅力的でないと思う理由として、「道路や広場など公共空間で快適と感じない」、「街並みから周辺との調和を感じない」など、まちなかにおける景観を魅力的に感じていない。

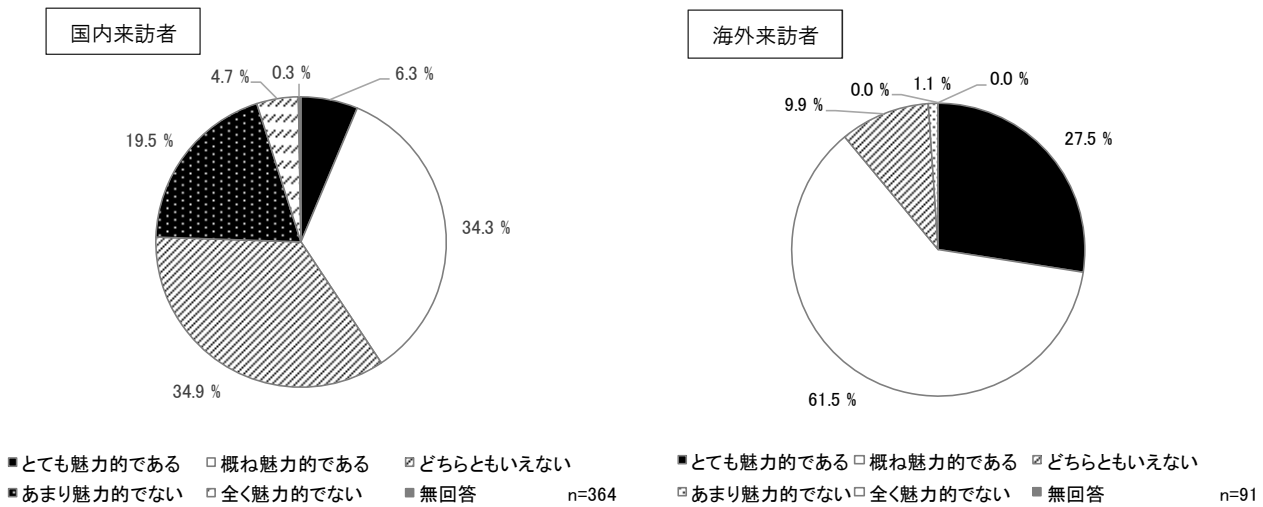


図1：「現在の宇都宮市の景観を魅力的だと感じますか？」の回答

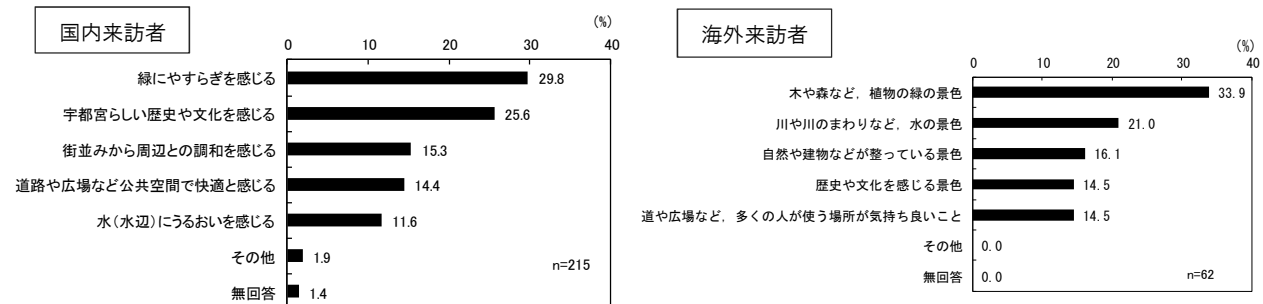


図2：「なぜ魅力的だと思いますか？」の回答

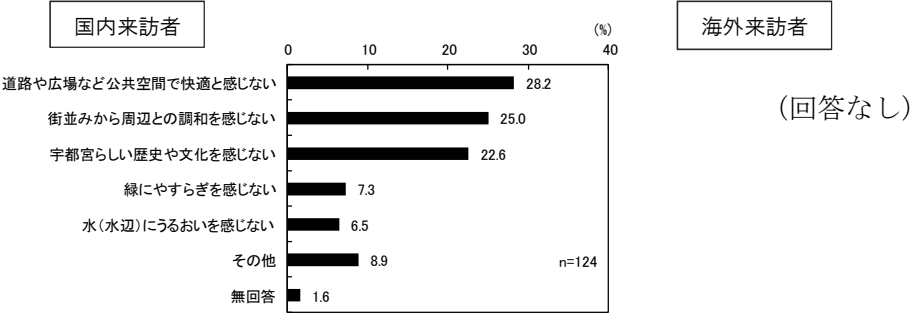


図3：「なぜ魅力的ではないと思いますか？」の回答

## イ 宇都宮市における魅力的な景観

- ・市民が魅力的と感じている二荒山神社周辺の景観を、国内の来訪者、外国人も魅力的と感じている。
- ・豊かな自然や山並み、田園について魅力的と感じている市民は多い一方、来訪者は少ない。
- ・国内の来訪者は、鬼怒川など郊外の河川を多く挙げたほか、城址公園や城下町の名残、大谷周辺地域など、宇都宮市の歴史・文化があらわれた景観を魅力的としている。また、二荒山神社周辺の景観は、幅広い年代が魅力的と感じている。
- ・外国人は、在住年数が短い人ほど、駅前の景観や中心市街地の街並みなど、中心市街地における景観を魅力的としている。一方、二荒山神社周辺の景観は、在住年数に依らず、多くの外国人が魅力的と感じている。

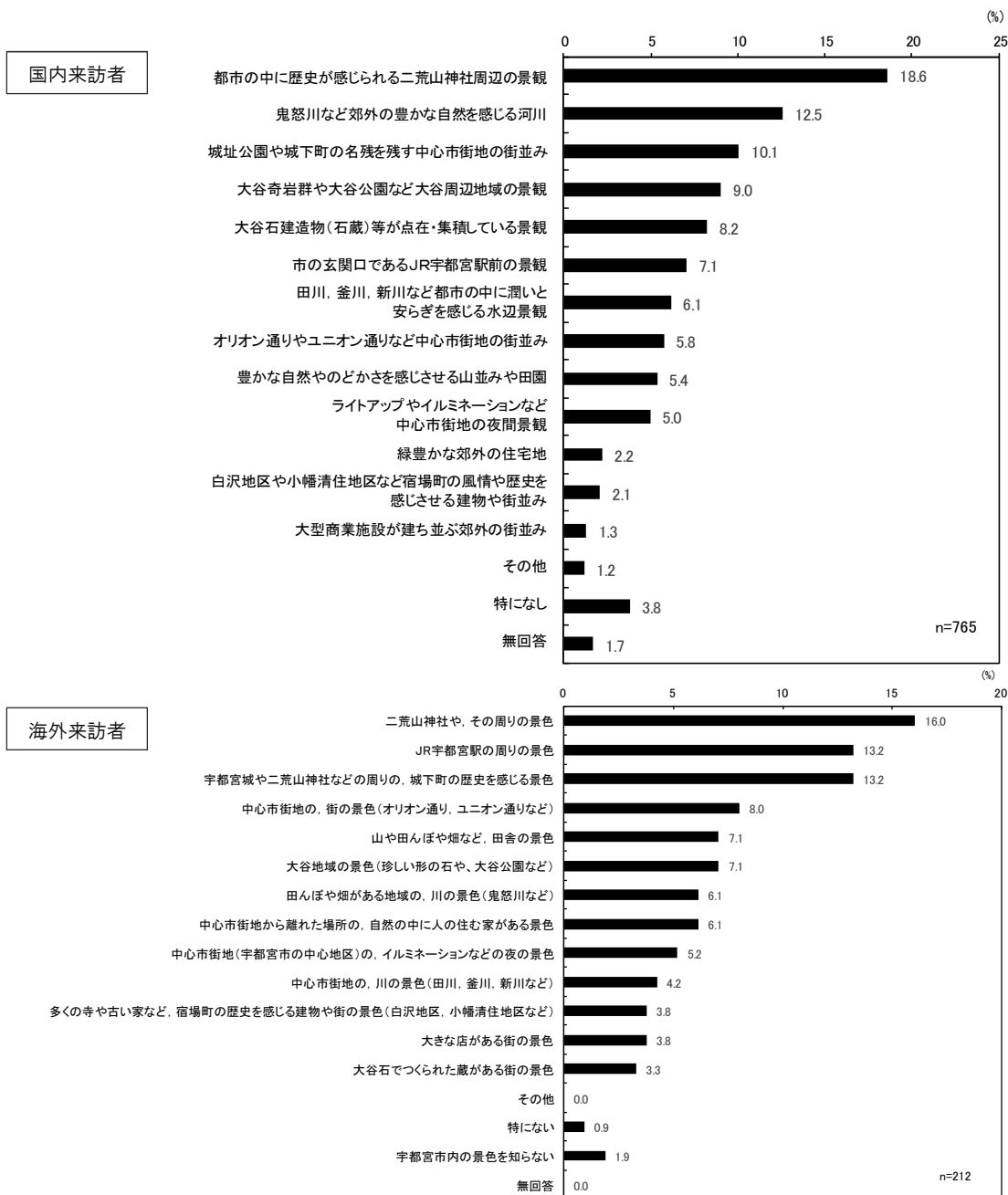


図4：「宇都宮市内で魅力的と感じる景観は何ですか？」の回答



## ウ 良好な景観形成に必要なこと

- ・ 沿道や都心部における緑化推進の必要性について、市民、国内外の来訪者が共通して多く回答されている。
- ・ 市民及び国内の来訪者は、電柱・電線の地中化や、建築物の形態・意匠・色彩の規制、周辺景観と不調和の屋外広告物の撤去や規制など、良好な景観形成に向けて不必要なものを除く方策を多く挙げている。
- ・ 一方、外国人は、沿道のライトアップ等夜間景観の創出、緑化推進など、良好な景観形成に向けて新たな景観を創出する方策を多く挙げている。
- ・ 国内来訪者、外国人ともに、20歳代以下の若い世代は、沿道のライトアップ等、夜間景観の創出が必要と考えている。

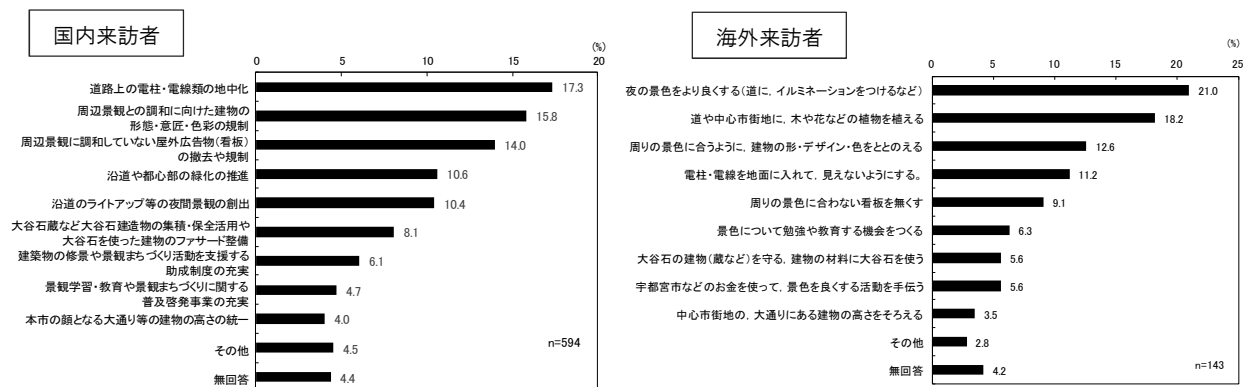


図5：「良好な都市景観の形成に必要なことは何だと思えますか？」の回答

## エ 宇都宮市における重要な眺め

- ・ 国内の来訪者、外国人ともに駅やインターチェンジなど宇都宮市の玄関口となる場所、中心市街地など多くの人で賑わう街なか、歴史・文化資源周辺や観光施設周辺など、来訪者が滞留する場所における眺めを重要と考えている。
- ・ 国内来訪者は、どの年代においても、歴史・文化資源周辺や観光施設周辺における眺めを重要と考えており、来訪経験が多いほど、中心市街地の多くの人で賑わう街なかの眺めを重要と回答している。
- ・ 自然の風景を見渡せる場所や、住宅地・集落・田園など地域住民が暮らす日常的な場所における眺めを重要とした回答は少なかった。

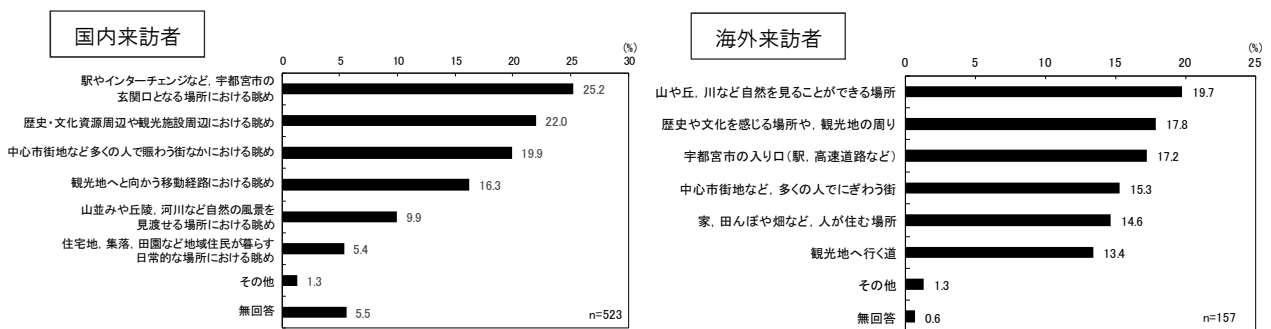


図6：「宇都宮市内のどのような場所における眺めが特に重要と思えますか？」の回答